

スコアシート		実施設計段階													
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体							
				評価点		重み係数		評価点		重み係数					
Q 建築物の環境品質												2.9			
Q1 室内環境						0.40						3.0			
1 音環境						2.6		0.15		2.7		1.00		2.7	
1.1 騒音						3.0		0.40		3.0		0.40			
1.1.1 1 暗騒音レベル						3.0		1.00		3.0		1.00			
1.1.1.1 設備騒音対策															
1.2 遮音						3.0		0.40		3.4		0.40			
1.2.1 1 開口部遮音性能						3.0		1.00		3.0		0.30			
1.2.1.2 2 界壁遮音性能				L-45のフローリングを使用		3.0				3.0		0.30			
1.2.1.3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				L-45のフローリングを使用		3.0				4.0		0.20			
1.2.1.4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0				4.0		0.20			
1.3 吸音						1.0		0.20		1.0		0.20			
2 温熱環境						2.8		0.35		2.8		1.00		2.8	
2.1 室温制御						3.0		0.50		3.0		0.50			
2.1.1 1 室温設定						3.0		0.63		3.0		0.63			
2.1.1.1 2 室温変動・過熱抑制性															
2.1.1.2 3 外皮性能						3.0		0.38		3.0		0.38			
2.1.1.3 4 ゾーン別制御性						3.0				3.0					
2.1.1.3.1 5 室温・湿度制御															
2.1.1.3.2 6 湿度制御															
2.1.1.3.3 7 時間外延滞に対する配慮															
2.1.1.3.4 8 湿度・デット															
2.2 湿度制御						2.0		0.20		2.0		0.20			
2.3 空調方式						3.0		0.30		3.0		0.30			
3 光・視環境						2.7		0.25		3.3		1.00		3.1	
3.1 昼光利用						3.0		0.30		3.0		0.30			
3.1.1 1 昼光率						3.0		0.60		3.0		0.50			
3.1.1.2 2 方位別開口						3.0				3.0		0.30			
3.1.1.3 3 昼光利用設備						3.0		0.40		3.0		0.20			
3.2 グレア対策						2.0		0.30		4.0		0.30			
3.2.1 1 窓部遮光設備															
3.2.1.2 2 昼光制御				ブラインド又はカーテンと庇で制御		2.0		1.00		4.0		1.00			
3.3 照度						3.0		0.15		3.0		0.15			
3.3.1 1 照度						3.0		1.00		3.0		1.00			
3.3.1.1 2 照度均等性															
3.4 照明制御						3.0		0.25		3.0		0.25			
4 空気質環境						3.6		0.25		3.6		1.00		3.6	
4.1 発生源対策						4.0		0.60		4.0		0.63			
4.1.1 1 化学汚染物質				室内のほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0		1.00		4.0		1.00			
4.1.1.1 2 化学汚染物質															
4.1.1.2 3 化学汚染物質															
4.1.1.3 4 化学汚染物質															
4.2 換気						3.0		0.40		3.0		0.38			
4.2.1 1 換気量						3.0		0.50		3.0		0.33			
4.2.1.2 2 自然換気性能						3.0				3.0		0.33			
4.2.1.3 3 取り入れ外気への配慮						3.0		0.50		3.0		0.33			
4.2.1.4 4 換気設備															
4.3 運用管理															
4.3.1 1 CO ₂ の監視						3.0									
4.3.1.2 2 喫煙の制御						3.0									
Q2 サービス性能						-		0.30		-		-		3.2	
1 機能性						4.0		0.40		3.8		1.00		3.8	
1.1 機能性・使いやすさ						4.0		0.60		4.0		0.60			
1.1.1 1 広さ・収納性						3.0				3.0					
1.1.1.2 2 高度情報通信設備対応				各住戸に100Mbitクラスのブロードバンドを整備		3.0				4.0		1.00			
1.1.1.3 3 バリアフリー計画				バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。		4.0		1.00		3.0					
1.2 心理性・快適性						4.0		0.40		3.5		0.40			
1.2.1 1 広さ感・景観						3.0				3.0		0.50			
1.2.1.2 2 リフレッシュスペース						3.0				3.0					
1.2.1.3 3 内装計画				モデルルーム、インテリアパースによる内装計画の事前検証を実施		4.0		1.00		4.0		0.50			
1.3 維持管理															
1.3.1 1 維持管理に配慮した設計						3.0									
1.3.1.2 2 維持管理用機能の確保						3.0									
2 耐用性・信頼性						2.9		0.31		-		-		2.9	
2.1 耐震・免震						3.0		0.48		-		-			
2.1.1 1 耐震性						3.0		0.80		-		-			
2.1.1.2 2 免震・制振性能						3.0		0.20		-		-			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0		0.33		-		-			
2.2.1 1 躯体材料の耐用年数						3.0		0.23		-		-			
2.2.1.2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0		0.23		-		-			
2.2.1.3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0		0.09		-		-			
2.2.1.4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0		0.08		-		-			
2.2.1.5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0		0.15		-		-			
2.2.1.6 6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0		0.23		-		-			

2.4 信頼性		節水型便器を設置し、出来る限り各配管の系統を区分している。	2.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		1.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	-	2.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		照明エネルギーの消費係数が0.64	4.1	0.40	-	-	4.1
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.63	-	-	2.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22	-	-	3.5
3.1	有害物質を含まない材料の使用	壁紙用、フローリング用接着剤にF☆☆☆☆使用。	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		複層ガラス採用	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な数の自転車置場を設置。住居用車庫し駐車場の設置はな	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	広告塔の設置はなし。必要最低限の街灯のみ。	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	